

第3回 switch 文 演習問題

【問題1】

図4のプログラムを写し、動作を確認しなさい。実行時に、pointの値として100、105、110、99、80、75、65、30、-5のcaseとdefaultを網羅する値を入力して実行しなさい。プログラムと実行結果をレポートにしなさい。

また、プログラム中でcase 10にbreakがない理由もレポートに記述しなさい。

【問題2】

図4のプログラムは、点数として102や-50のような数値を入れても判定する。点数は、100点満点(0~100)とし、-50のように相応しくない点数を入力すると、「エラー」と表示するようにプログラムを変更しなさい。プログラムと実行結果をレポートにしなさい。また、レポートには、プログラム内の変数の値の変化を記しなさい。尚、値の変化は、学籍番号に-1をかけた数を入力した場合について記しなさい。例えば「OBJK2222」ならば、「-2222」を入力すること。

【問題3】

上記【問題2】のプログラムを、if文にして作成しなさい。このときの変数の値の変化を記した表(変数表)は必要なし。

【問題4】

次に示す<大文字・小文字・数字 判定プログラム>を、switch文にして作成・実行しなさい。このプログラムと実行結果をレポートにしなさい。

```
#include<stdio.h>

int main(void){

    char moji;

    printf("文字を入力しなさい ");
    scanf("%c", &moji);

    if ( moji >= 'A' && moji <= 'Z' ) {
        printf("英大文字です¥n");
    }
    else if ( moji >= 'a' && moji <= 'z' ) {
        printf("英小文字です¥n");
    }
    else if ( moji >= '0' && moji <= '9' ) {
        printf("数字です¥n");
    }
    else {
        printf("英字でも数字でもありません¥n");
    }
}

}
```

<大文字・小文字・数字 判定プログラム>